

令和4年度(2022年度)

(一財)熊本国際観光コンベンション協会

# 事業計画書

令和4年3月作成

(一財)熊本国際観光コンベンション協会

## 【コンベンション協会の目的】

交流人口の増



- ・ 地域産業経済の活性化
- ・ 文化の向上

## 【令和4年度(2022年度)の取り組み】

### コロナ禍での新しいニーズに沿った事業を推進し、 地域全体の経済活性を図る

#### ◎観光関連事業者との連携強化

- ⇒コロナ禍における事業継続・経済活性への様々な支援・施策実施
- ⇒迅速な情報提供や相談の対応

#### ◎既存の観光・文化財素材の磨き上げ

- ⇒プッシュ型ではない、ニーズに沿った素材の提供
- ⇒高付加価値化の推進

#### ◎旅行業の本格稼働

- ⇒専門知識やノウハウを持つ旅行業専門職員の活用
- ⇒地域全体で稼ぐ事業の推進

### コンベンション協会の柔軟性・迅速性を最大限に活かす

コロナ禍に対応した

MICE

#### ① 誘致、支援策の推進

- ⇒現況に即した助成制度の見直し及び誘致活動の強化
- ⇒台湾TSMC事業関連などターゲットを絞った効率的な誘致

#### ② ユニークベニュー事業の推進

- ⇒新規ベニューの開発と利用促進
- ⇒専門職員の受入、活用

観光

#### ① 旅行業の本格稼働

- ⇒着地型商品の再整備と開発、商品化、運営
- ⇒熊本城や水前寺成趣園を核とした新規商品の開発

#### ② 観光関連事業者と地域の活性化

- ⇒旅行商品割引事業の実施
- ⇒行政連携による商品券事業など地域活性化の推進
- ⇒湧水亭を活用した水前寺地区の活性化

運営

#### ① 協会運営の多角化、拡大

- ⇒事業多角化の推進
- ⇒財産運用の研究、実施

#### ② 業務の抜本的な見直し

- ⇒会員向け総合相談窓口の設置と情報収集、発信
- ⇒決裁事務及び帳票のデジタル化の検討

## I MICE誘致・支援

### (1) コンベンションの開催誘致

⇒ 主催者等のニーズを把握しターゲットを絞った開催誘致の実施

### (2) 開催情報の収集、ネットワークの継続

⇒ くまもとMICEおもてなしプロジェクトチームを含む地元ステークホルダーとの連携強化と受入体制づくりの推進

⇒ 全国のコンベンション推進団体との誘致情報や意見交換を通じ、当協会の誘致戦略の検証と改善を実施

### (3) 開催支援助成金の充実

⇒ コロナ禍後の開催状況や経済効果等の現状把握と検証をおこない、より高い経済効果を目指す

### (4) 物的支援の継続実施

⇒ 開催促進及びおもてなしの向上を図るため、大会歓迎看板の掲出などを充実させ継続実施

### (5) ユニークベニューの利用促進

⇒ 既存コンテンツの見直しや新規開発を本格的に実施し、有力な誘致ツールの構築を図る

### (6) コンベンション統計業務

⇒ コンベンションの開催がもたらした経済波及効果の調査・分析をおこなうとともに、その結果を公開し、関係団体等との共通認識を図りつつ、地域全体のおもてなし機運を醸成する

## II 観光客の受入・誘致

### (1) 受入体制の整備・強化

⇒ 「つなぐ」をテーマに、新たな受入体制の構築する

### (2) 海外への情報発信と受入体制の構築

⇒ 観光関連各種団体や行政との連携を深め、インバウンド回復に向けた情報発信、受入体制整備をおこなう

### (3) 教育旅行の受入・誘致

⇒ コロナ禍で大きく変化したニーズや情勢の変化を把握し、新たな受入体制を確立する

## III 観光資源の活性化

### (1) 地域に密着した活動の支援・協力

- ⇒ 宿泊を伴う旅行需要喚起事業(LOOKUP CP)やテレワーク推進事業の実施
- ⇒ 植木温泉地区・水前寺地区での地域活動に対する協賛やマンパワーの協力
- ⇒ 水前寺地区や中心市街地で開催される様々なイベントへの実践的な協力
- ⇒ 「UDくまもと」や「春日人おてもやん」との連携

### (2) 水前寺地区の活性化

- ⇒ 2021年10月に開設した水前寺肥後細川文化発信拠点「湧水亭」の運営
- ⇒ 「肥後六花」の磨き上げと発信力の強化
- ⇒ 様々な体験メニューの構築と多言語表示の推進

## IV おもてなしの充実

### (1) 観光ボランティアガイドの資質向上と連携強化

- ⇒ 城彩苑内常駐ガイドの派遣依頼
- ⇒ 好調な防災・減災プログラムへの継続協力

### (2) 観光案内所の運営

- ⇒ 城彩苑、JR熊本駅構内の案内業務を受託
- ⇒ ニーズ調査に基づく各種サービス提供(二次交通チケット販売や記念品販売など)

### (3) 熊本博物館受付・販売の運営

⇒ 熊本博物館の受付業務及び販売業務を受託

## V 情報収集・広報・宣伝活動

### (1) 観光パンフレット等の制作及び配布

⇒ 安心、安全に観光可能な情報を含む広報ツールの発行

### (2) 各種広報活動の更新・継続

⇒ 様々な情報発信を継続

### (3) 観光客実態調査の実施

⇒ 観光案内所や二の丸お休み処、水前寺地区などで、観光客動態の調査・分析を実施  
⇒ コロナ禍に対応したオンライン調査、集計及び分析

### (4) 観光情報の収集・ネットワークの構築

⇒ 観光関連各種団体との連携を図り、情報収集に努める

## VI 協会運営基盤の充実

### (1) 基本財産・運用財産の効率的な資金運用・管理の見直し

⇒ 高い運用益を得られる運用方法の研究・実施  
⇒ 運用財産の効率的かつ弾力的な運用を実施  
⇒ 満期を迎える基本財産一部(3億円)の効率的かつ弾力的な運用の実施

### (2) 協会運営の見直し

⇒ 「働き方改革」に伴う協会規則・運用等の見直し検討  
⇒ 決裁事務や帳票のデジタル化に向けた検討を継続  
⇒ コロナ禍における会員向け各種支援制度等の情報の収集、発信(協会HPに特設ページを設置)  
⇒ 職場内研修(OJT)および会員向け人材育成の実施

### (3) 収益事業の多角化、拡大

⇒ アジア・太平洋水サミット開催に伴う案内デスク設置やエクスカーション運営受託  
⇒ 緑化フェア開催に伴うオリジナルグッズの制作、販売  
⇒ 緑化フェア開催時の出店や動植物園内飲食ブースの運営  
⇒ 県立美術館や熊本博物館での特別展開催に伴うグッズ制作、販売  
⇒ 熊本博物館ミュージアムショップや湧水亭の収益増に向けた取り組み  
⇒ オンラインショップの充実と販売強化  
⇒ 観光客実態調査やイベント関連運營業務などの継続受託  
⇒ オリジナル商品の開発